

「信者講座」

主任司祭 晴佐久昌英

十月より高円寺教会にて、「信者のためのカトリック講座」を開設した。これは、入門講座を終えて洗礼を受けた信者が、引き続きカトリックの学びを続けていくためのものである。

カトリックの教えは、広く、深い。おそらくこの世のどんな学問よりも、豊かで、尊い。入門講座も大切だが、それは映画で言えば予告編のようなもの。感動の本編は、受洗後に始まるのである。しっかり学んでキリストの教えのすばらしさに感動し、キリスト者として生きる喜びを知ってもらいたいと願っている。

対象は全信徒だが、特に最近洗礼を受けた方にとっては必要不可欠な講座と想っていたきたい。教会に親しみ、信徒同士の交わりを深める機会ともなるよう配慮している。他教会の方、受洗前の方も参加できるので、家族、友人等、気軽に誘い合って参加してほしい。

内容は、聖書、教義、典礼等の基礎的知識から、カトリックの伝統的慣習や、現代の諸問題についての教会の見解に至るまで、できるだけ広範囲なテーマを、できるだけわかりやすくお話しすることを目指している。

日程は、原則として毎月第二、三、四日曜日のミサ後 11 時 15 分から 1 時間で、とりあえず第一期として来年 3 月までの 16 回のテーマと講師は決まっている。もちろん、一度きり、その日だけの参加もできる。

講師は、晴佐久神父と濱田、倉田両神学生を軸に、内外の司祭・修道者・信徒の協力も仰ぎ、充実した講座にしていくつもりである。

場所は、マイエホール。主日のミサ後すぐに、教会の中心のホールで、毎週のように開かれるというスタイル自体が、この講座の重要性を表現するメッセージでもある。

生きていく上での教育の重要性は、いまさら言うまでもない。親から生きる知恵を学び、学校から世界の仕組みを学び、友人から人と人の関係を学んで僕らはようやく人として生きてこられたのである。教育の機会がなかったら一体どんな自分になっていただろうか。まして、教会から信仰を学び、神の愛と神の国を学ばなかったら、どんな人生を生きていたのだろうか。